



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月14日

上場会社名 三櫻工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6584 URL http://www.sanoh.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹田 玄哉
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 長谷川 貴之 TEL 03-5793-8411
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 68,349 | 3.7 | 2,997 | △20.6 | 3,149 | 43.2 | 1,963 | 169.5 |
| 29年3月期第2四半期 | 65,915 | 3.4 | 3,776 | 28.2 | 2,200 | △9.8 | 728 | △32.3 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,862百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △3,432百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 53.93 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 20.01 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 110,268 | 38,778 | 32.7 | 990.87 |
| 29年3月期 | 104,219 | 35,581 | 31.9 | 914.71 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 36,063百万円 29年3月期 33,291百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 12.00 | — | 12.00 | 24.00 |
| 30年3月期 | — | 12.50 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 12.50 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 138,000 | 3.1 | 5,700 | △5.1 | 5,600 | 3.9 | 2,000 | 86.3 | 54.95 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期2Q | 37,112,000株 | 29年3月期 | 37,112,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 716,473株 | 29年3月期 | 716,377株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期2Q | 36,395,564株 | 29年3月期2Q | 36,395,704株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| 3. その他 | 12 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善を背景に個人消費も堅調に推移し、設備投資や輸出が持ち直すなど、景気は着実な回復基調が続きました。

海外において、米国では、労働市場の回復を背景にした個人消費の底堅い成長が持続し、景気は緩やかな拡大が持続しました。欧州は個人消費が牽引役を果たし、外需も輸出の伸びが輸入の伸びを上回ったことが成長の押し上げ要因となりました。中国は個人消費と輸出は堅調に推移し、各種政策効果により景気に持ち直しの動きがみられ、アジアでは、個人消費を中心に内需が底堅さを維持し、総じて緩やかな景気回復が続いております。

このような環境のなか、当第2四半期連結累計期間の業績は、欧州の業績回復を北南米・日本の減益が上回った結果、売上高は683億49百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は29億97百万円（前年同期比20.6%減）と増収、減益となりました。一方、前期と比べ為替レートが安定して推移した結果、為替差損は大幅に減少し、減損損失等の非経常的な費用が発生しなかったことにより、経常利益は31億49百万円（前年同期比43.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億63百万円（前年同期比169.5%増）と増益となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

売上高168億29百万円（前年同期比0.1%増）と前期水準を維持しましたが、営業利益は主に緊急輸送費や品質関連費用等のコストの増加により、2億59百万円（前年同期比61.1%減）と減益となりました。

② 北南米

北米における自動車販売台数の拡大には陰りが見えるものの、当社客先における生産・販売台数の増加等により、売上高は231億78百万円（前年同期比2.0%増）となりました。一方営業利益は米国子会社においてスクラップ費用及び輸送費の増加に加え、人件費等の固定費も増加したことにより16億16百万円（前年同期比34.7%減）と減益となりました。

③ 欧州

ドイツ子会社における売上の増加により、売上高は119億56百万円（前年同期比7.7%増）となりました。またドイツ子会社における外注加工費等の変動費の減少に加えロシア子会社の復調及びイギリス子会社が引き続き好調に推移したことも寄与し、営業損失は28百万円（前年は6億円の営業損失）となりましたが、赤字幅は大幅に縮小いたしました。

④ 中国

客先生産台数の増加により、売上高は64億66百万円（前年同期比7.0%増）と増収となりましたが、生産高増加に伴う人件費の増加及び工程効率化のためのコストが先行して発生したことが影響し、営業利益は1億84百万円（前年同期比53.2%減）と減益となりました。

⑤ アジア

各日系メーカーの生産量増大によりタイ及びインドの子会社の売上増が寄与し、売上高は99億20百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は10億32百万円（前年同期比19.7%増）と増収、増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は1,102億68百万円となり、前連結会計年度末に比べて60億48百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の増加24億29百万円、仕掛品の増加11億41百万円、有形固定資産の増加23億19百万円、投資有価証券の増加7億75百万円、製品の減少2億87百万円及び原材料及び貯蔵品の減少3億66百万円等であります。

負債合計は714億89百万円となり、前連結会計年度末に比べて28億51百万円増加しました。主な要因は短期借入金金の増加15億69百万円及び長期借入金金の増加11億89百万円等であります。

純資産は387億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて31億97百万円増加しました。主な要因はその他有価証券評価差額金の増加5億36百万円、為替換算調整勘定の増加5億91百万円、退職給付に係る調整累計額の増加3億82百万円、利益剰余金の増加15億26百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により51億36百万円増加、投資活動により53億46百万円減少、財務活動により24億26百万円増加などの結果、当第2四半期連結会計期間末には143億53百万円（前連結会計年度末比24億29百万円増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が30億84百万円（前年同期は16億77百万円）、減価償却費が27億37百万円（前年同期は25億58百万円）、売上債権の減少による資金増が5億62百万円（前年同期は13億75百万円の資金減）、たな卸資産の増加による資金減が1億46百万円（前年同期は12億90百万円の資金減）、仕入債務の増加による資金増が6億11百万円（前年同期は26億11百万円の資金増）、法人税等の支払による資金減が14億29百万円（前年同期は10億78百万円の資金減）あったことなどにより、前年同期と比較して、8億48百万円減少して、51億36百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、自動車部品事業を中心とした有形固定資産の取得による支出51億69百万円（前年同期は39億28百万円の支出）等により、前年同期と比較して、15億10百万円増加して、53億46百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られたキャッシュ・フローは、借入金の純増加による収入30億91百万円（前年同期は8億47百万円の支出）、配当金の支払による支出4億37百万円（前年同期は4億37百万円の支出）等により、24億26百万円となりました（前年同期は13億32百万円の支出）。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、平成29年5月12日の「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想数値に変更ございません。

なお、平成29年8月7日に公表しました「当社グループ製品搭載車種の市場回収処置（リコール）について」に関する当社グループが負担する補修費用の最終的な負担額は現時点において確定しておりません。今後、算定が可能な状態となり次第、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,924 | 14,353 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,967 | 18,597 |
| 電子記録債権 | 594 | 504 |
| 製品 | 3,899 | 3,612 |
| 仕掛品 | 5,936 | 7,077 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,538 | 10,173 |
| 繰延税金資産 | 919 | 925 |
| その他 | 2,247 | 2,924 |
| 貸倒引当金 | △136 | △127 |
| 流動資産合計 | 54,889 | 58,037 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 16,243 | 16,347 |
| 機械装置及び運搬具 | 60,351 | 62,039 |
| 工具、器具及び備品 | 10,828 | 11,071 |
| 土地 | 3,983 | 4,004 |
| リース資産 | 769 | 1,003 |
| 建設仮勘定 | 4,138 | 5,759 |
| 減価償却累計額 | △60,249 | △61,963 |
| 減損損失累計額 | △3,377 | △3,254 |
| 有形固定資産合計 | 32,686 | 35,006 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 509 | 501 |
| リース資産 | 28 | 23 |
| その他 | 705 | 659 |
| 無形固定資産合計 | 1,242 | 1,182 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 9,293 | 10,069 |
| 長期貸付金 | 7 | 5 |
| 繰延税金資産 | 5,504 | 5,113 |
| その他 | 597 | 856 |
| 投資その他の資産合計 | 15,402 | 16,042 |
| 固定資産合計 | 49,330 | 52,230 |
| 資産合計 | 104,219 | 110,268 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,168 | 10,662 |
| 電子記録債務 | 4,134 | 4,282 |
| 短期借入金 | 12,543 | 14,112 |
| 未払金 | 2,168 | 2,021 |
| リース債務 | 116 | 143 |
| 未払法人税等 | 1,060 | 433 |
| 未払消費税等 | 353 | 446 |
| 賞与引当金 | 1,081 | 1,207 |
| 役員賞与引当金 | 23 | 19 |
| 製品保証引当金 | 818 | 359 |
| その他 | 3,720 | 4,391 |
| 流動負債合計 | 36,185 | 38,075 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,395 | 11,584 |
| リース債務 | 214 | 370 |
| 繰延税金負債 | 114 | 113 |
| 役員退職慰労引当金 | 174 | 174 |
| 退職給付に係る負債 | 21,043 | 20,867 |
| その他 | 514 | 305 |
| 固定負債合計 | 32,453 | 33,414 |
| 負債合計 | 68,638 | 71,489 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,481 | 3,481 |
| 資本剰余金 | 2,628 | 2,365 |
| 利益剰余金 | 31,032 | 32,558 |
| 自己株式 | △477 | △477 |
| 株主資本合計 | 36,663 | 37,927 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,995 | 4,531 |
| 為替換算調整勘定 | △3,044 | △2,453 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △4,323 | △3,942 |
| その他の包括利益累計額合計 | △3,372 | △1,863 |
| 非支配株主持分 | 2,290 | 2,715 |
| 純資産合計 | 35,581 | 38,778 |
| 負債純資産合計 | 104,219 | 110,268 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 65,915 | 68,349 |
| 売上原価 | 55,374 | 58,248 |
| 売上総利益 | 10,541 | 10,101 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,765 | 7,104 |
| 営業利益 | 3,776 | 2,997 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 22 | 26 |
| 受取配当金 | 96 | 107 |
| 為替差益 | — | 192 |
| その他 | 60 | 82 |
| 営業外収益合計 | 178 | 408 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 178 | 182 |
| 為替差損 | 1,512 | — |
| その他 | 64 | 74 |
| 営業外費用合計 | 1,754 | 257 |
| 経常利益 | 2,200 | 3,149 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 10 | 19 |
| 特別利益合計 | 10 | 19 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 6 | 6 |
| 固定資産除却損 | 37 | 79 |
| 減損損失 | 489 | — |
| 特別損失合計 | 532 | 85 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,677 | 3,084 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,063 | 787 |
| 法人税等調整額 | △396 | 3 |
| 法人税等合計 | 667 | 790 |
| 四半期純利益 | 1,010 | 2,294 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 282 | 331 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 728 | 1,963 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,010 | 2,294 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △22 | 536 |
| 為替換算調整勘定 | △4,881 | 650 |
| 退職給付に係る調整額 | 461 | 382 |
| その他の包括利益合計 | △4,441 | 1,567 |
| 四半期包括利益 | △3,432 | 3,862 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △3,404 | 3,472 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △28 | 390 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,677 | 3,084 |
| のれん償却額 | 36 | 29 |
| 減損損失 | 489 | — |
| 減価償却費 | 2,558 | 2,737 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △4 | △13 |
| 有形固定資産除却損 | 37 | 79 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 613 | 236 |
| 受取利息及び受取配当金 | △118 | △134 |
| 支払利息 | 178 | 182 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,375 | 562 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,290 | △146 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 2,611 | 611 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 210 | 119 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 71 | △155 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 604 | 193 |
| その他 | 834 | △756 |
| 小計 | 7,133 | 6,629 |
| 利息及び配当金の受取額 | 159 | 134 |
| 利息の支払額 | △231 | △198 |
| 法人税等の支払額 | △1,078 | △1,429 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,984 | 5,136 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,928 | △5,169 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 202 | 86 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △121 | △13 |
| その他 | 12 | △250 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,835 | △5,346 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △261 | 2,122 |
| 長期借入れによる収入 | 1,000 | 2,381 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,586 | △1,412 |
| 配当金の支払額 | △437 | △437 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △48 | △145 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出 | — | △82 |
| その他 | △0 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,332 | 2,426 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,151 | 213 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △334 | 2,429 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,015 | 11,924 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 12,681 | 14,353 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|------------------------------|---------|--------|--------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 北南米 | 欧州 | 中国 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への 売上高 | 16,816 | 22,733 | 11,097 | 6,040 | 9,228 | 65,915 | — | 65,915 |
| (2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 8,475 | 121 | 68 | 1,104 | 243 | 10,011 | △10,011 | — |
| 計 | 25,291 | 22,855 | 11,164 | 7,145 | 9,472 | 75,926 | △10,011 | 65,915 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 664 | 2,475 | △600 | 393 | 862 | 3,795 | △20 | 3,776 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△10,011百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△20百万円には、のれんの償却額△36百万円、顧客関連資産の償却額△51百万円およびたな卸資産等の調整額68百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて487百万円、「中国」セグメントにおいて2百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|------------------------------|---------|--------|--------|-------|--------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 北南米 | 欧州 | 中国 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への 売上高 | 16,829 | 23,178 | 11,956 | 6,466 | 9,920 | 68,349 | — | 68,349 |
| (2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 8,916 | 315 | 85 | 909 | 336 | 10,561 | △10,561 | — |
| 計 | 25,745 | 23,493 | 12,041 | 7,375 | 10,256 | 78,909 | △10,561 | 68,349 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 259 | 1,616 | △28 | 184 | 1,032 | 3,062 | △65 | 2,997 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△10,561百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△65百万円には、のれんの償却額△29百万円、顧客関連資産の償却額△50百万円、技術関連資産の償却額△5百万円、貸倒引当金繰入の取消額29百万円、たな卸資産の調整額△76百万円及び固定資産に係る調整額66百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。